

令和9年度実施
地域力応援基金助成事業
～チャレンジ助成・
チャレンジプラス助成～

募集説明会

10月5日（月）15時00分～

大田区 地域未来創造部 地域力推進課
区民協働・多文化共生担当

次 第

1 あいさつ

2 地域力応援基金助成事業について

3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成 について

(1) 助成金概要

(2) チャレンジプラス助成 テーマ説明

(3) 質疑応答

4 募集について

(1) 募集内容説明

(2) 申請書の書き方

(3) 質疑応答

次 第

- 1 あいさつ
- 2 地域力応援基金助成事業について
- 3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成について
 - (1) 助成金概要
 - (2) チャレンジプラス助成 テーマ説明
 - (3) 質疑応答
- 4 募集について
 - (1) 募集内容説明
 - (2) 申請書の書き方
 - (3) 質疑応答

地域力応援基金助成事業とは

- 区民や事業者など、地域のために活用してほしいという思いがこもった寄付を原資にした助成制度です。
- 区内で活動する団体の、**地域課題に取り組む公益的な事業**のため、助成します。
- 区内の**様々な主体との連携・協働を推奨し、協働による地域課題への取り組みを推進**します。

区民活動団体・協働とは？

区民活動団体とは？

営利を目的としない活動で、不特定多数、社会の利益のための活動を行うことを目的とし、継続性を持って区内で活動する団体

※宗教、政治、特定の公職の候補者の支持や反対を目的とする活動を除く

連携・協働とは？

区民をはじめ自治会・町会、団体・NPO、事業者及び区が共通の目的を持って、相互に自主性を尊重しつつ、それぞれが持つ知識、技術などの資源を提供しあい、協力して取り組むこと。

大田区の目指す姿

【大田区基本計画（令和7年3月策定）】

多くの区民や多様な主体が地域活動に参加し、自治会・町会をはじめとした地域団体、行政、関係機関等が連携・協力し、地域課題の解決に向け、継続的に活動している。

⇒ 支えあいのネットワークの構築を図る

地域力応援基金助成事業

■ スタートアップ

設立から6年未満の団体、基盤事業の確立

■ ステップアップ

設立から2年以上の団体、基盤事業の拡充・拡大

■ チャレンジ助成

設立から5年以上、新たな地域課題や新規事業へチャレンジ

■ チャレンジプラス助成

上記に加えて、区が提示するテーマへの取組

スタートアップ助成の概要

- 設立間もない団体（設立から6年未満）を対象としており、今後団体の基盤事業の確立や安定した団体運営ができるよう支援する助成金制度です。
- 新規の事業を軌道に乗せたい、地域との協働関係を構築し活動を広めていきたいなど、団体活動のスタートを支えていきます。

ステップアップ助成の概要

- 一定の取り組みを進めている団体（設立から2年以上）を対象としており、今後団体の基盤事業の拡大・拡充を支援する助成金制度です。
- 地域や他の団体と連携・協働を行い、幅広い地域活動への貢献や団体の更なる拡大・拡充をする事業を支えています。

助成金の活用例

- 子育てママのための居場所づくり事業
- 高齢者の集いの場づくり
- 交流の場としての公園花壇運営
- 高齢者施設での音楽演奏
- 企業と学生をつなぐ企業支援
- 参加体験型コンサートの開催

※過去の助成事業については、大田区ホームページで公開中
→「地域力応援基金助成事業活動報告書」で検索

区民協働担当の主な事業

- **オーちゃんネット**

区民活動団体の情報収集、活動情報発信

- **地域力発見ガイド**

地域活動について知ることができるガイドブック

- **協働支援施設（micsおおた、こらぼ大森）**

活動場所としての利用、チラシの配架

- **講座**

「コーディネーター養成講座」

詳細は随時大田区ホームページ、オーちゃんネットでお知らせします。

次 第

- 1 あいさつ
- 2 地域力応援基金助成事業について
- 3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成
について
 - (1) 助成金概要
 - (2) チャレンジプラス助成 テーマ説明
 - (3) 質疑応答
- 4 募集について
 - (1) 募集内容説明
 - (2) 申請書の書き方
 - (3) 質疑応答

助成対象期間

令和9年4月1日（木） から

令和10年3月31日（金） まで

を開始し、終了する事業

チャレンジ助成の概要

- 設立から5年以上の活動実績がある団体を対象としており、**新たな地域課題や新規事業にチャレンジ**し、地域の連携・協働の深まりが期待できる事業を支援する助成制度です。
- 既存事業は助成対象になりません。

チャレンジプラス助成の概要

- チャレンジ助成の条件に加えて、区が提示する以下の①または②のテーマに即した事業を支援する助成制度です。
- ① 区民活動支援サイト「ためまっぷおおた」
利用促進事業
- ② 家庭ごみ減量に向けた地域における
普及啓発事業

助成対象事業

区民を対象とし、公益性が認められ、社会貢献につながり、
広く地域に開かれた非営利事業で、次に掲げる活動に係るもの
事業は下記 11 分野から選択してください。

1	高齢者や障がい者の地域生活の支援を行う活動
2	子育ての充実を図る活動
3	地域医療との連携を図る活動
4	社会教育又は、スポーツの推進を図る活動
5	まちづくり又は、観光の推進を図る活動
6	環境の保全を図る活動
7	文化又は、芸術又は、国際化の推進を図る活動
8	防災又は、地域安全又は、消費者の保護を図る活動
9	人権擁護又は、男女共同参画社会形成の促進を図る活動
10	子どもの健全育成を図る活動
11	その他公益性があり、広く地域貢献につながる活動

助成金額

チャレンジ助成

1 団体あたり **200** 万円まで（継続150万円）

チャレンジプラス助成

1 団体あたり **250** 万円まで（継続187万円）

【2つのメニューで合計1,000万円】

※申請は1万円単位

次 第

- 1 あいさつ
- 2 地域力応援基金助成事業について
- 3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成
について
 - (1) 助成金概要
 - (2) チャレンジプラス助成 テーマ説明
 - (3) 質疑応答
- 4 募集について
 - (1) 募集内容説明
 - (2) 申請書の書き方
 - (3) 質疑応答

区民活動支援サイト「ためまっぷおおた」 利用促進事業

チャレンジプラス助成の募集テーマ

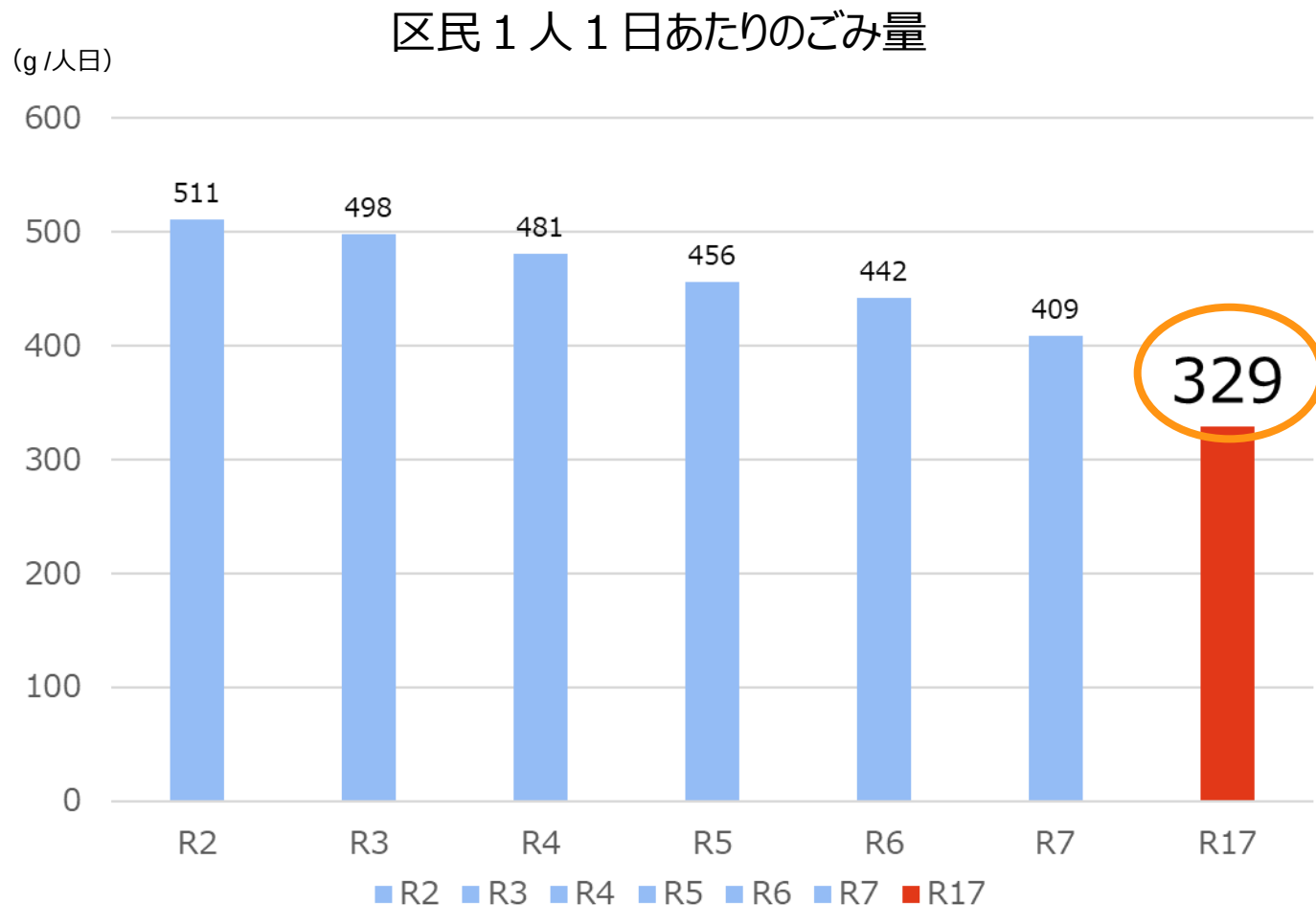
**家庭ごみ減量に
向けた地域における
普及啓発事業**

ごみ減量推進課 事業推進担当

なぜごみを減らす 必要があるのか？

- ★地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすため
- ★最終処分場の埋立地をより長く使えるようにするため
- ★限りある資源を守るため

実績値（R2～R7）と 目標値（R17）



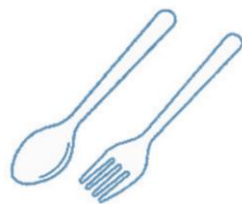
目標を達成するには...

1年あたり**毎日11g**の
ごみを減らす
必要があります！！

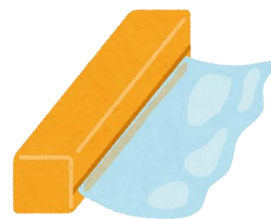
【例】



レジ袋
10g



プラスチック製
スプーン・フォーク
8g



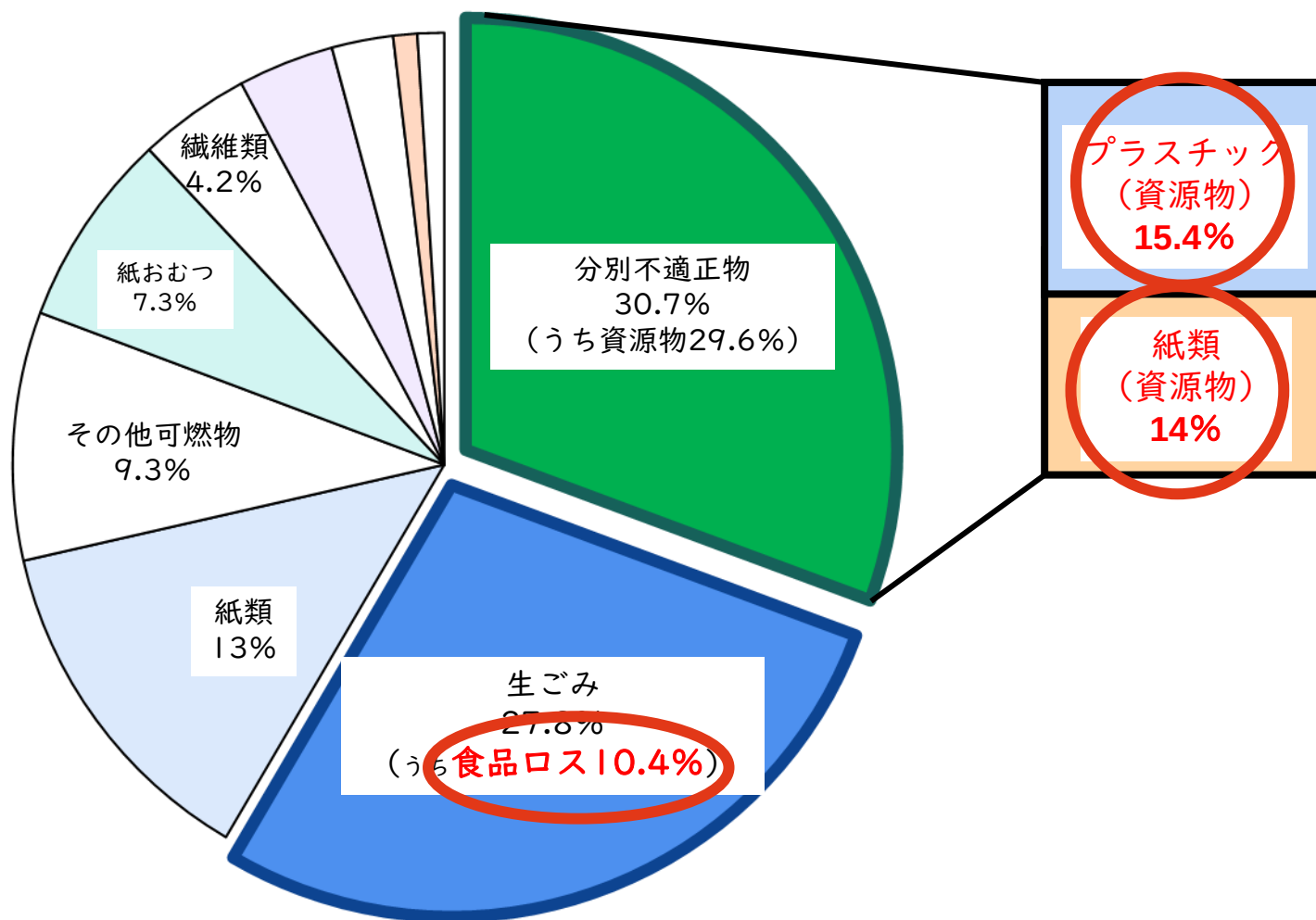
食品ラップ
2g



チラシ1枚
7g

現状・課題

家庭ごみ組成分析調査（可燃ごみ）

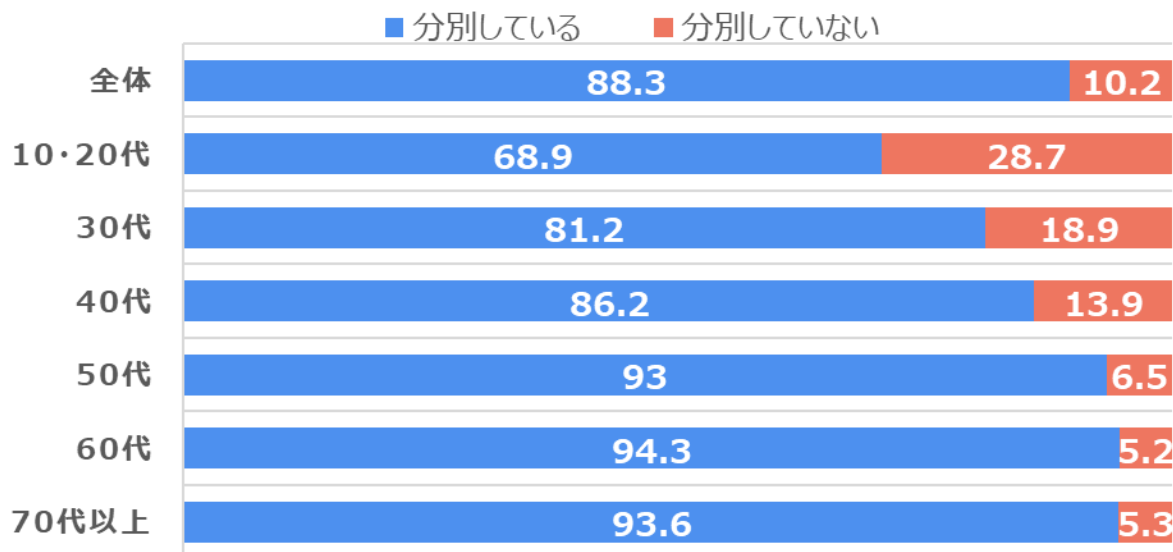


例① プラスチック分別回収の強化

現状と課題

- ・ 令和7年4月からプラスチック分別回収を区内全域で開始
- ・ 分別率を年代別にみると、10代・20代が低く、年齢が上がるにつれ高くいることから、**若年層への周知が課題**

日常生活の中で、
プラスチック分別をしているか



※令和5年度区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査結果抜粋

現状と課題

不適正排出物の混入
適正な分別方法が十分に浸透していない

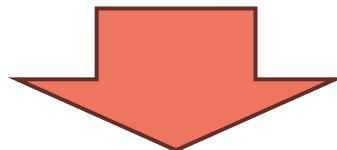
【例】



カセットテープの混入



リチウムイオン電池の混入



正しく分別されないと...

清掃車や施設の火災や、機械の故障に繋がる

リサイクルされた プラスチックのその後

ドライアイス



炭酸



アンモニア

- 衣類や薬品、肥料等に生まれ変わる
- 清掃工場では、大気汚染の原因となるNox（窒素酸化物）の除去剤として利用

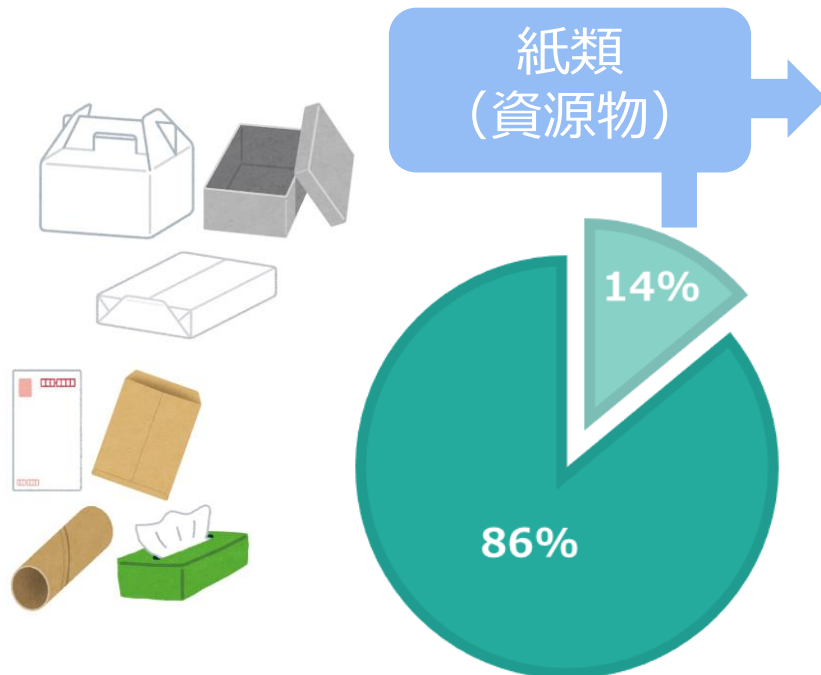


様々な製品の原料に生まれ変わります！

例② 雑がみの回収強化

現状と課題

- ・可燃ごみには紙類（資源物）が14%含まれている。
- ・その中で最も多いのは、「容器包装紙類」及び「(新聞紙・段ボール等以外の)その他リサイクル可能な紙」
- ・これらが分別されることで、さらなるごみの減量が可能

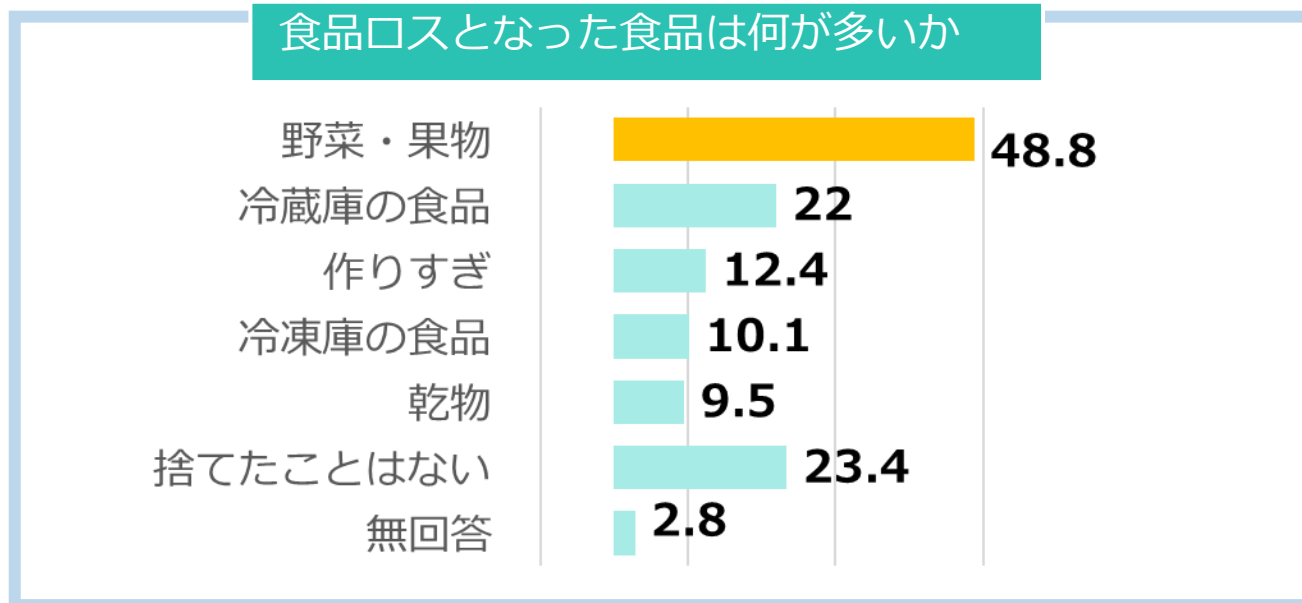


紙類 14%	新聞紙・チラシ	0.6%
	雑誌類・書籍	2.2%
	段ボール	1.0%
	紙パック	0.5%
	OA用紙	0.8%
	リサイクル可能な容器包装紙類 下記以外)	4.3%
	その他リサイクル可能な紙 (はがき・窓なし封筒・トイレットペーパーの芯・ティッシュペーパーの箱)	4.6%

例③ 食品ロスの削減

現状と課題

- ・ 区の年間食品ロス量（2021年推計）は23,498t
そのうち家庭系が54%を占めている。
- ・ 「野菜・果物」が最も多い。
→冷蔵庫の食品を使いきれないことが課題である
ことから、引き続き普及啓発が必要。



チャレンジプラス助成で期待すること

★区民一人当たりのごみ量を減らす

- ・区民一人一人のごみの排出への意識を高める

→とくにプラスチック分別回収については、若年層の意識が低いため
若年層へのアプローチが必要

(20代の若者だけでなく、小・中学生などの子どもを対象とした
事業も**大歓迎**です！)

- ・なぜごみを減らす必要があるのか知ってもらう

次 第

- 1 あいさつ
- 2 地域力応援基金助成事業について
- 3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成
について
 - (1) 助成金概要
 - (2) チャレンジプラス助成 テーマ説明
 - (3) 質疑応答
- 4 募集について
 - (1) 募集内容説明
 - (2) 申請書の書き方
 - (3) 質疑応答

次 第

- 1 あいさつ
- 2 地域力応援基金助成事業について
- 3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成について
 - (1) 助成金概要
 - (2) チャレンジプラス助成 テーマ説明
 - (3) 質疑応答
- 4 募集について
 - (1) 募集内容説明
 - (2) 申請書の書き方
 - (3) 質疑応答

申請期間

令和8年10月5日（月）から
11月4日（水）の17時まで

- 締切日（11月4日（水）の17時）までに助成金交付申請書と添付書類一式がすべて揃っていない場合は、申請できません。
- 書類の不備等で1回で受付が完了するケースが少ないので、早めの申請を推奨しています。

助成対象団体

- 申請時において団体設立から5年以上かつ地域力応援基金助成金の交付事業終了から2年以上の団体
- 「大田区区民活動情報サイト（オーちゃんネット）」に登録している団体
（※登録は申請と同時にできます。）

助成対象経費

助成対象⇒募集案内「6 助成対象経費」のとおり。

■謝礼

外部講師への謝礼や、ボランティア参加者への謝礼等

- 【外部講師謝礼】 募集案内の支払い基準が目安。
※区の講師謝礼支払い基準を準拠。
- 【ボランティア謝礼】 1 日2,000円を上限。
※事業当日及び準備に限る。
※団体の内外を問わず対象となります。

助成対象経費

■事務用消耗品費

文具・材料・用紙やプリンタのインク等の購入費

※数が多い場合は、「文房具」等まとめて記載可

※本体価格1万円未満でも、耐用年数を加味し物品と判断する場合あり

■物品購入費 【相見積必要】

本体価格1万円以上（税込）のものが目安。

1品につき、**取得金額の20%**を限度とし、**助成対象経費全体で申請額の25%**とする。継続申請時に再計上を**認める**。

（例）物品費用5万円、総額100万円の申請の場合

→物品購入費として計上できるのは総額25万円

助成金で計上できるのは1万円

助成対象経費

■リース・レンタル料 【相見積必要】

パソコンなどのリース料、車両・機材等のレンタル料

■印刷料 【相見積必要】

事業のチラシ・ポスター等の印刷費、資料等のコピー代

※チラシのデザイン等を含む場合は委託費に該当する。

※団体で行うコピー等については、見積書不要 ※領収書は必要

■郵送料

郵送・運搬等にかかる経費

■保険料

イベント保険、ボランティア保険等にかかる経費

助成対象経費

■委託費【相見積必要】

警備、チラシデザイン等の外部への委託経費

※助成対象経費全体で申請額の20%を限度とする。

ただし、法令の定めによる配慮など区長が特別の事由があると認めたときはこの限りではない。

※チラシデザイン印刷

印刷のみであれば印刷料、デザインを含めば委託費

(例) 100万円の申請の場合 → 委託費全体で20万円が上限

■会場使用料

会場・会議室の使用料、駐車場代、ZOOM等の使用料

※賃料、水道光熱費、インターネット使用料等の経常経費の計上は不可。

助成対象経費

【注意点】

- 物品購入費、リース・レンタル料、印刷料、委託費は【相見積】が必要です。見積書は複数からもらってください。複数からの見積りのうち、最も安価な額で助成金を計算します。
- 物品購入費、委託費は【限度額】があります。

【助成対象とならない経費】

- 団体の運営に関する活動経費 例：通信料、家賃、水道光熱費
- 公益的事業に直結しない経費 例：交際費、慶弔費や懇親会費

※助成対象経費の支払いの際、ポイントの付与を受けないでください。精算時に減額交付します。

申請方法

- 申請書・収支予算と以下の添付書類を
L o G o フォームで申請または**郵送**してください。
 - (1) 申請書・収支予算 ※区HPからダウンロード可能
 - (2) 団体規約・定款
 - (3) 団体のメンバー一覧
 - (4) 団体の直近年度の事業報告書・収支決算書
 - (5) 団体の今年度の事業計画書・収支予算書
 - (6) 見積書 ※対象経費中、該当となる経費を計上する団体のみ

【上記以外の書類は、審査対象外】

※修正液や消えるペンは使用できません。

助成事業決定までのスケジュール

- | | |
|-------------------------|----------------|
| (1) 申請〆切 | 11月4日(水) 17時まで |
| (2) 書類審査(一次審査) | 11月下旬頃 |
| (3) 公開プレゼンテーション審査(二次審査) | |
| ※書類審査通過団体のみ | 令和9年1月下旬頃 |
| (4) 助成事業決定 | 令和9年3月上旬頃 |

※予定につき前後する場合があります。

※各審査前に審査員から事業に対する質問をする場合があります。

※二次審査で指定する日時に遅刻・欠席をした場合、辞退したものとして対応いたします。

交付決定後のスケジュール

- | | |
|-----------------|-----------|
| (1) 助成金の支払① | 令和9年4月頃 |
| (2) 事業経過の調査・確認 | 日程未定 |
| (3) 助成金の支払② | 令和9年10月頃 |
| (4) 実績報告書の提出 | 令和10年4月上旬 |
| (5) 実績報告書に基づき精算 | 令和10年4月以降 |
- ※事業終了後に残額があれば返金となります。

審査の視点

- ①事業を担える団体であるか (活動基盤)
- ②適切な形で実施できるか (計画実行)
- ③地域や社会のためになるか (地域貢献)
- ④連携・協働を意識した内容か (協働理解)

👉 **申請前**に、申請事業が審査の視点に沿ったものか確認する

👉 **第三者の視点**で、内容が理解できるか確認してみる

次 第

- 1 あいさつ
- 2 地域力応援基金助成事業について
- 3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成
について
 - (1) 助成金概要
 - (2) チャレンジプラス助成 テーマ説明
 - (3) 質疑応答
- 4 募集について
 - (1) 募集内容説明
 - (2) 申請書の書き方
 - (3) 質疑応答

申請書（1面）

1 申請区分

チャレンジプラス助成への申請は、取り組むテーマを記載

2 申請金額

一万円単位で記入（端数は切り捨て）

3 団体の基本情報

助成決定等に係る文書は連絡責任者の住所宛てに送付

※メールアドレスは添付ファイル（Word・Excel）を
閲覧できるアドレス推奨。

申請書（1面）

3 団体の基本情報

- 年間予算額は、助成事業以外も含む令和8年度の団体の予算を記入してください。
※未定の場合は、直近年度の予算額を記入してください
- 団体の基盤事業・区内での活動歴は、基盤事業の趣旨や現在力を入れて取り組んでいることをわかりやすく記載してください。

申請書（2面）

4 新たに取り組む事業の内容

- ・ 事業内容

【どんな方を対象に】

【何のために】

【どのような事業を行うのか】 具体的に記載してください。

※記載のない事業は、助成事業として認められません。

- ・ スケジュール

計画のため、日時まで正確でなくても問題ありません。

実施事業、場所、参加人数を出来る限り記入してください。

申請書（3面）

5 連携・協働体制

連携・協働を予定している団体等の名称と関わり方を記入してください。

※必ず相手の了承を得てから記載してください。

6 事業の目標

- 事業を実施することで、参加者にどのような効果があるのか、地域にどう貢献できるかを記入
- 客観的にどのような結果が得られることで、目指す効果に近づいていると判断できるか、という視点で記入

申請書（3面）

7 助成金の対象経費

収支予算（記載例）をご覧ください。

区分	金額 (円)	内訳 例: 1000円 × 10人 = 10000円
地域力応援基金助成金	150,000	(※1面「1 申請金額」を記入)
団体負担金	52,300	
参加費・資料代等	4,500	500円 × 9回
その他の収入	40,000	寄付金
収入総額 (支出総額と同額)	246,800	

■ 支出の部

対象項目	費目ごとに支出内容と金額を記載	金額 (円)			内訳 (※品名・単価・数量など) 例: 1000円 × 10人 = 10000円
		総額	助成金	その他	
団体外部への謝礼	イベント講師	12,000	12,000		2,000円 × 1人 × 6回
	学習会講師	40,000	30,000	10,000	5,000円 × 2人 × 4回
交通費	イベント交通費	38,000		38,000	760円 × 5人 × 10回
		0			
事務用消耗品費	文房具等	10,000	10,000		
	インク代等	5,000	5,000		
		0			

$$\text{総額} = \text{助成金計上額} + \text{その他 (団体負担)}$$

リース・レンタル料	配信機材レンタル	50,000	21,200	28,800	
印刷費		0			
郵送料	切手代等	2,500	2,500		
保険料	イベント保険	5,000	5,000		
委託料	イベントパンフレット	60,000	40,000		
会場使用料	イベント会場	24,300	24,300		2,700円×9回
その他経費		0			
助成対象経費 合計		246,800	150,000	96,800	
助成対象外経費					
支出総額(収入総額と同額)				246,800	収入合計と同額

【物品購入費】
 【リース・レンタル料】
 【印刷費】
 【委託料】
 は見積もりが必要（2社以上）

助成金申請額と同額
 （1万円単位）

団体負担額合計

申請書（3面）

8 他の助成金等への申請

- 団体として他の助成金に申請している場合は記入してください。
- 同事業を他の助成金に申請すること自体は可能ですが、どちらも採択された場合はどちらかを辞退していただきます。

申請書（４面）

９ その他

審査の結果、申請金額を減額する場合があります。
全く同じ規模・頻度でなくても、概ね事業が実施できれば
可能と判断してください。

10 添付書類

- 団体規約・定款
- 団体のメンバー一覧
- 団体の直近年度の事業報告書・収支決算書
- 団体の今年度の事業計画書・収支予算書
- 見積書

（対象経費中、該当となる経費を計上する団体のみ）

申請相談について

相談方法

- 記入した申請書等をご用意した上で、電話またはメールで相談の**予約**をしてください。
(30分程度、予約優先)
- 申請書データは、大田区HPからダウンロードできます。窓口でもお渡し可能です。

場所

おおた国際交流センター (Minto Ota) 2階

※締め切り間際は混み合いますので、お早めにご相談いただくとスムーズに手続きが行えます。

次 第

- 1 あいさつ
- 2 地域力応援基金助成事業について
- 3 チャレンジ助成・チャレンジプラス助成について
 - (1) 助成金概要
 - (2) チャレンジプラス助成 テーマ説明
 - (3) 質疑応答
- 4 募集について
 - (1) 募集内容説明
 - (2) 申請書の書き方
 - (3) 質疑応答